日台交流日録②

【平成20年7月12日~10月15日】

これからの日本と台湾が見えてくる

7 日台合作映画 「闘茶」公開

を

て、

計十六回行われた作品のなかで、

十四人

人々を、 迎えた。 日台合作映画 幸せになれる幻のお茶を捜し求める 京都と台北を舞台に描く。 「闘茶 tea fight」が公開 香川照

7 戸田恵梨香、周渝民らが出演 ブックフェア展示書籍を拓大に寄贈

京有明の東京ビッグサイトで行われた。 第十五回東京国際ブックフェア」が、 ブー 東

スを開設した台湾図書出版事業協会は、

国立

どの書籍を展示。これらはブックフェア終了 故宮博物院の出版物を中心に、文学、漫画な 拓殖大学に寄贈され、 日本と台湾の学術

7 旭硝子、台湾に生産拠点を

8

8 19

駐日代表に馮寄台氏

交流に活用される。

ると、 ガラス基板の需要の高まりを見越しての投資 や奇美電子が第十世代工場を計画するなど、 を台湾に建設する考えを表明した。友達光電 旭硝子はLCDパネル向けガラスの新工場 総額は三百億円とされる。計画が実現す 旭硝子にとりアジア最大のガラス基板

> 7 23 日本時代の絵画を集めた特別展

生産拠点となる。

2008」が行われ、

台湾からは

獅子舞、 慶和館

太

れ 湾総督府により「台湾美術展覧会」が行わ めた特別展が行われている。 高雄美術館で日本時代に描かれた絵画を集 その後「台湾総督府美術展覧会」とし 一九二七年、 台

7 観光局の日本、 28 飛輪海が台湾の顔に 韓国向けの新イメージキャ

の高雄州出身の画家の作品を展示している。

ラクターに人気グループ 一飛輪海(フェイル

らぬ味で、

地元の有名店。

る 年はターゲットをF4ファンが多い中高年女 め 年は同じく人気グループの「F4」がつと 性から若者へと移行させるためだとされてい ンハイ)」が選ばれ、記者会見を行った。 観光収入も約三十九億円増加したが、 昨

き入った。締めくくりでは客席を交えた「千 演を行い、 榮星少女合唱団、 台湾の合唱団が東京でコンサート 四百人を超える参加者が美声に聞 台北当代合唱団が日本公

2 「風になって」の大合唱となった。 長野県飯田市で「いいだ人形劇フェスタ 人形劇を通じた日台交流へ

8 0

獅劇団」が昨年に続き招待され、

8 . が受け継いだ。高級菓子の風格を残した変わ 年続く老舗。中村貞一氏が創業し、 とに国際人形フェスティバルを行っている。 形劇交流意向書に署名した。雲林県は二年ご した雲林県の蘇治芬県長は日本、韓国との人 宜蘭県蘇澳鎮にある「鳳鳴羊羹本舗」 龍の舞などを披露した。来賓として出席 日本時代から続く羊羹店 翁鳳鳴氏 は百

8 • 11 いる。一方、 気による海外旅行への意欲低下を原因として 客は昨年同期比で五%減少した。同部は不景 五%の増加となり、百九十一万人だった。 交通部の発表によると上半期の日本人観光 台湾を訪れる日本人観光客が減少 外国人渡航者数は昨年同期比

8 23 和国大使の馮寄台氏の起用を決定した。 外交部は新しい駐日代表に、前ドミニカ共 秀逸な台湾映画八作品を上映

東京・シネマート六本木で開催された。 台湾シネマ・コレクション2008」 「刺青」といった、台湾で高い興行収 が

習曲」、

入を記録した八作品を上映する 日本人記者を忠烈祠に合祀

8

した。 売新聞の安田延之記者ら六人を忠烈祠に合祀 第二次台湾海峡危機を取材中に死亡した、読 毎日新聞によると、金門県で一九五八年に 遺族の同意はないとのこと。

互交流、 流の覚書を取り交わした。教育、 いて彰化県政府を訪問。 9 北海道旭川市の西川将人市長は訪問団を率 台湾―旭川間の空路開設、 旭川市と彰化県が国際交流協定締結 卓伯源県長と国際交 観光での相 彰化に動

期待される

9

「海角七号」 がグランプリ獲得

第四回アジア海洋映画祭イン幕張」で、

人で、 発表した。 国際観光振興局は上半期訪日観光客統計を 韓国に次いで第二位だった。 台湾からの観光客は七十二万二千

が四万六千人と最多で、 和歌山県を訪れた外国人観光宿泊客は、 を取材した。県観光交流課によると、 が和歌山県を訪れ、 9 台湾の人気番組 台湾のテレビ番組が和歌山を取材 G 白浜町、 今年も順調という。 G O J A P A N 那智勝浦町など 昨年、 台湾

台中の太平洋百貨豊原店で、 台中で「鳥取週間」 鳥取県の物産

9

が、イベントにあわせて鳥取―台中間で初め 鳥取県を訪れた台湾人観光客は三千二百人だ 探偵コナン」のパネルが展示された。 世紀梨や地酒の販売、「ゲゲゲの鬼太郎」 観光フェア「鳥取週間」が開催された。二十 てチャーター便が運航された。 今後の増加が 昨年、 名

湾は日本にとってよくわかっている場所でも ン部門でグランプリを獲得。 海角七号」(魏徳聖監督) 台湾と日本との関係に触れたもので、 わからない場所でもある。 がコンペティショ 魏監督は この映画を 題材 台

物園開設への協力などが盛り込まれている。

訪日観光客、

台湾は第二位

あり、 通して日本の観客の皆さんに台湾の生命力を 見てもらいたい」と話す。 中孝介ら日本人も出演している 同映画には田中千

9 • 14

シンポ「どうなる日台関係!」

9 . 8 王金平立法院長が来日

三・元首相、 略対話・東京ラウンド」が開かれ、 講演を行った。王氏は今回の訪日で、 岡崎研究所 台湾からは王金平・立法院長が出席して 米国三ヵ国の安全保障専門家らが出席し 平沼赳夫・日華議員懇談会会長 (岡崎久彦理事長) 主催の 日本、 安倍晋 戦 台

らと面会した。

統から 台氏は、 9 12 らも同行した。 察には、 年五月の八田氏の慰霊祭に参列している。 指示を受けたことを明らかにした。馬氏は今 解するために来た」とし、ダムを視察した後 氏は「台湾人が日本人に抱く特別な感情を理 台南の烏山頭ダム、八田氏の墓を訪れた。 日本の偉大な功績だ」と述べた。また馬総 共同通信によると、新代表に内定した馮寄 「就任前に早く見に行くように」との 交流協会台北事務所の齋藤正樹代表 日本時代に八田與一技師が設計した 馮寄台氏、 烏山頭ダムを訪れる

と題し、 講演し、 からは楊永明・国家安全会議諮問委員が基調 東京都千代田区で「どうなる日台関係!」 櫻井よし子氏らと意見を交換した。 本会がシンポジウムを行った。 台湾

9 . YOSHIKIが訪台

ン活動を行った。 超える熱烈なファンが空港で出迎えた。 SHIKIが特別機で台湾に到着。 一月に予定されるコンサー ロックグループ「X-JAPAN」 トのプロモーショ 四百人を の Y O

9 22 李登輝元総統、 沖縄を訪問

徴」と題して講演を行う。 ション劇場で「学問のす、めと日本文化の特 るなか沖縄に出発。 李登輝元総統は、 馮寄台駐日代表らが見送 宜野湾市の沖縄コンベン 四日間の日程では

などを訪れる。 ほかに平和祈念公園、 ひめゆりの塔、 首里城

10

F 4

日本公演をスター

F 3

4が初となる日本での全七公演を、

横浜

10 1 巨人、姜建銘投手を解雇

国マリナーズの誘いを断って、学生ながら入 へ戦力外通告をした。姜氏は二〇〇五年、 読売ジャイアンツは台湾出身の姜建銘投手 米

で高い人気を持つ。

10 1 日台の免許、 無試験で切替可能に かった。 団したが、

通算成績は五勝六敗

一軍と二軍を行き来することが多

湾の免許で日本の免許を取得できる措置が始 検査だけで台湾の免許を取得でき、 日本の運転免許証を所持していれば、 同様に台 身体

まった。

翻訳文を付記した短期的な免許証

相

10 互承認は昨年九月から実施され、 一万人、 日本側は約三千人が利用していた。 台東で日本時代を再発見 台湾側は約

宝町と呼ばれた現在の中山路沿いに、 取り組んでいる。 台東県政府は日本人観光客を呼び込もうと 台東市には日本時代当時、 台東街

> り親しみを感じるだろうと、 解する原住民も多いことから、 ら大工を呼び寄せて修繕した。 役所の宿舎が保存されている。 同政府は話す。 また日本語を 宿舎は日本か 日本人にはよ

人気漫画『花より男子』 アリーナでスタートさせた。 流星花園』に出演し、 日本を含めたアジア が原作の台湾ドラマ F4は、 日本の

10 6 月二十一日にスタートする。 「ING台北国際マラソン」が今年も十二 台北マラソン、 日本での受付開始 現在日本からの

10 10

八田氏の生地でテニスを

学の発展に大きく寄与した。

瀬古利彦さんを迎える予定。 協会」が受け付けている。昨年の参加者は十 出場者申し込みを「日台スポーツ・文化推進 のイベント「マラソン・トークショー」には 万人で台湾最大規模の大会となった。 前日

10 6 シニアカレッジで李元総統が講義

元総統は「日台百年来の歴史及び今後の関 大学で行われた。 交流型の公開講座 十歳以上を対象とした、 国立大学法人とJTBが共同で主催する五 講師として登壇した李登輝 |シニアカレッジ| 一〜二週間の滞在 が台湾

> ている状況などを講義した。 台湾の関係とその変化、 係」と題して、 日本統治時代を含めた日本と 現在の台湾がおか

10 9 巫永福氏が死去

大きな影響を受けて文学を志し、明治大学に 巫氏は和歌や俳句、夏目漱石の小説などから える巫永福氏が死去した。九十六歳だった。 詩人、小説家で台湾近代文学の先駆者とい

組織し、 は「台湾文藝」の発行人となるなど、 留学した。留学時には「台湾芸術研究会」を 雑誌「福爾摩沙」を発行した。

阪で行われた全日本マスターズ大会に出 ス愛好者による国際親善大会が行われた。 石川県で、 県民と台湾のシニアソフトテニ [場し

力のもと開催の運びとなった。 金沢市の谷内良造氏が応え、 師生誕の地で試合をしたい」という要望に、 た台湾選手団から出されていた「八田與一 國新聞社の協

10 • 15 工事が始まる。 国定古跡である高屏渓に架かる鉄橋の修復 旧高屏鉄橋、 鉄橋は一九一 修復へ 三年に建造

技

【古市利雄

七年まで使用されていた。